

1. 教育計画

基礎看護学

分野	専門分野Ⅰ 基礎看護学	科目名	生活援助技術Ⅲ (食事と排泄)
単位・時間	1 単位・20 時間	対象学年	1 年生
方法	講義、演習	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 半谷 みゆき (8時間) 専任教員 松井 さやか (10時間)		
講師の実務経験	半谷：看護師として星ヶ丘病院に4年、星総合病院に6年 松井：看護師として星ヶ丘病院に9年、星総合病院に6年		
学習目標	1. 人間にとって食事、排泄という行為の意味や意義を理解する。 2. 安全・安楽・自立・個別性を重視した基本的な援助技術を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メディックメディア 看護技術がみえる①基礎看護技術		
参考文献	照林社 ビジュアル基礎看護技術ガイド		
履修上の留意	受験資格：規定時間の講義への出席 評価：授業や演習態度・課題内容も含む		
講師からの メッセージ	<p><食事>人にとって「食べる」ということの大切さを考え、「食べる」という行為に不具合が生じた時に、看護職にどのような看護が必要なのか一緒に考えていきましょう。</p> <p><排泄>排泄援助技術を受ける患者の立場、看護者としてどのような看護が必要なのかを講義、演習を通じて患者と看護者の両側面から学んでいきましょう。</p>		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	1. 食事・栄養の意義 2. 食欲	事前課題：食事とは（精神的・身体的・社会的な側面から考える） 1) 食事の意義 2) 栄養状態及び食欲のアセスメント	事前 課題 講義	
2	2	経口摂取困難時の栄養法	1) 非経口的栄養摂取法の種類と比較 2) 経管栄養法・経静脈栄養法の援助の実際	講義	DVD
3 4	4	食事援助の実際	1) 食事介助の実際	講義 演習	DVD

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
5	2	1. 排泄の意義 2. 排泄援助を受ける対象の理解	1) 排泄とは (1) 生理的側面 (2) 心理的側面 (3) 社会的・文化的側面 1) 排泄環境の調節 2) 排泄援助を受ける対象の心理 3) 排泄に関する看護者の役割	講義	課題 提出
6	2	排泄行動に障害のある人への看護と実際 ①	1) 尿器を用いた援助方法 2) 差し込み便器を用いた援助方法	講義 演習	白衣 着用
7	2	排泄行動に障害のある人への看護の実際 ②	1) ポータブルトイレを用いた援助方法 2) おむつを用いた援助方法	講義 演習	白衣 着用
8	2	1. 自然な排泄と排泄障害について 2. 『排泄物』から分ること 3. 排尿・排便障害のある人への看護	1) 排尿・排泄障害のメカニズム 2) 排尿に関する情報収集、排泄物の観察 3) 自然排尿を阻害する因子、促す方法 4) 排便・排便障害のメカニズム 5) 排便に関する情報収集、排泄物の観察 6) 自然排便を阻害する因子、促す方法	講義 演習	課題 提出 白衣 着用
9	2	排泄行動に障害のある人の看護と実際③	1) 排尿障害のあるひとの排泄方法 (導尿、膀胱留置カテーテル) 2) 排便障害のある人の排泄方法 (グリセリン浣腸・高圧浣腸・敵便) 3) グリセリン浣腸の援助方法	講義 演習	課題 提出 白衣 着用
10	2	評価	筆記試験		